

9月に高知大学で開催した「学生の学びを支援する授業準備ワークショップ」では、台風のため、2日間予定していた研修のうち1日分の日程を中止し、内容を変更して実施した。開催校以外からの参加者もあり、日程を延期しての実施が困難だったための対応であったが、事後アンケート結果の満足度も高く、参考事例として、中止の判断に至った経緯やレポート等による代替措置に関する情報共有をコア校間で行った。



日 程	プログラム名	開催校	受講者数			参加校数 対面	満足度 (%)
			対面	遠隔	計		
6月16日(土)～17日(日)	授業設計ワークショップ	徳島大学	16	0	16	2	100
6月30日(土)～7月1日(日)	授業デザインワークショップ(第30回)	愛媛大学	15	0	15	5	100
9月4日(火)～9月5日(水) →9月5日(水)	学生の学びを支援する授業準備ワークショップ	高知大学	13	0	13	3	100
9月5日(水)～9月7日(金)	授業デザインワークショップ(第30回)	愛媛大学	22	0	22	6	100
9月13日(木)～14日(金)	新任教員研修会「よりよい授業のためのFDワークショップ」	香川大学	20	0	20	5	100
合 計			86	0	86	21	100

新任教員研修プログラムの基準枠組対応表

国立教育政策研究所が作成した 新任教員研修プログラムの基準枠組			徳島大学	香川大学	愛媛大学	高知大学
学習領域	学習目標	実施 区分	研修名:授業設計ワークショップ	研修名:よりよい授業のための FDワークショップ	研修名:授業デザインワークショップ	研修名:学生の学びを支援する 授業の準備 (新任教員FDワークショップ)
			日程:2日間	日程:1泊2日	日程:1泊2日又は3日間	日程:2日間
1. 大学コミュニ ティーについて の理解	1ー1 大学に関する 基礎知識を得る。	各大学	新任教員オリエンテーション	新任教員オリエンテーション	新任教員オリエンテーション	新任教員オリエンテーション
	1ー2 同僚とのコミュ ニケーションをとる。	共通	「授業設計ワークショップ」研修全体を通し て	「よりよい授業のためのFDワークショップ」 研修全体を通して	「授業デザインワークショップ」 研修全体を通して アイスブレイキング	「新任教員FDワークショップ」 研修全体を通して
2. 授業のデザ イン(目標設 定、実施計画、 成績評価)	2ー1 授業デザイン のための基礎知識を 得る。	共通	事前学習教材「アクティブ・ラーニング」 ワーク「授業設計の基本」 講義・ワーク「授業計画」	グループワークⅠ「学生の考える良い授業」 講義Ⅰ「シラバスの書き方」	講義Ⅰ「何が学生の学びを促進するのか」 講義Ⅱ「コース設計とクラス設計の考え方」 講義Ⅲ「シラバスの書き方」 講義Ⅵ「クラス設計」	グループワークⅠ「良い授業とは？」 ミニレクチャーⅠ「目標設定と授業計画、 シラバスの書き方」 ミニレクチャーⅣ「コースデザインの考え方」
	2ー2 授業デザイン のためのスキルを修 得する。	共通	事前学習教材「アクティブ・ラーニング」 ワーク「授業設計の基本」 講義・ワーク「授業計画」	グループワークⅡ「全学共通科目の開発Ⅰ」	グループワークⅠ「共通教育科目の開発Ⅰ」 グループワークⅡ「共通教育科目の開発Ⅱ」	グループワークⅠ「良い授業とは？」 グループワークⅡ「共通教育科目の開発①」
3. 教育の実践	3ー1 教育実践に関 する基礎知識を習得 する。	共通	事前学習教材「アクティブ・ラーニング」 ワーク「授業設計の基本」 講義・ワーク「授業計画」 模擬授業実施	講義Ⅱ「学生参加型授業の技法」	講義Ⅰ「何が学生の学びを促進するのか」 講義Ⅳ「様々な授業方法」	ミニレクチャーⅡ「様々な授業形態、それぞ れのメリットとデメリット」
	3ー2 学習者中心の 授業および学習支援 を実現し、学生の学 習を促進する。	共通	事前学習教材「アクティブ・ラーニング」 ワーク「授業設計の基本」 ワーク「自身の教育理念」 講義・ワーク「授業計画」 模擬授業実施	グループワークⅢ「全学共通科目の開発Ⅱ」 グループワークⅣ「全学共通科目の開発Ⅲ」 グループワークⅤ「全学共通科目の開発Ⅳ」 グループ発表Ⅰ「中間発表」 グループ発表Ⅱ「最終発表」	グループワークⅡ「共通教育科目の開発Ⅱ」 グループワークⅢ「共通教育科目の開発Ⅲ」 グループワークⅣ「共通教育科目の開発Ⅳ」 グループワークⅤ「共通教育科目の開発Ⅴ」 「中間発表」 「模擬授業」	グループワークⅢ「共通教育科目の開発②」 グループワークⅣ「共通教育科目の開発③」 グループワークⅤ「共通教育科目の開発④」 グループ発表Ⅰ「グループワーク中間報告」 グループ発表Ⅱ「新科目の紹介とミニ授業」
	3ー3 学生と適切な コミュニケーションを とる。	共通	事前学習教材「アクティブ・ラーニング」 ワーク「授業設計の基本」 ワーク「自身の教育理念」 講義・ワーク「授業計画」 模擬授業実施	講義Ⅱ「学生参加型授業の技法」 グループワークⅢ「全学共通科目の開発Ⅱ」 グループワークⅣ「全学共通科目の開発Ⅲ」 グループワークⅤ「全学共通科目の開発Ⅳ」 グループ発表Ⅰ「中間発表」 グループ発表Ⅱ「最終発表」	講義Ⅰ「何が学生の学びを促進するのか」 講義Ⅳ「様々な授業方法」 グループワークⅡ「共通教育科目の開発Ⅱ」 グループワークⅢ「共通教育科目の開発Ⅲ」 グループワークⅣ「共通教育科目の開発Ⅳ」 グループワークⅤ「共通教育科目の開発Ⅴ」 「中間発表」 「模擬授業」	ミニレクチャーⅡ「様々な授業形態、それぞ れのメリットとデメリット」 グループワークⅢ「共通教育科目の開発②」 グループワークⅣ「共通教育科目の開発③」 グループワークⅤ「共通教育科目の開発④」 グループ発表Ⅰ「グループワーク中間報告」 グループ発表Ⅱ「新科目の紹介とミニ授業」
4. 成績の評 価、フィード バック	4ー1 教育の評価や フィードバックにつ いての基礎知識を得 る。	共通	事前学習教材「アクティブ・ラーニング」 事前学習教材「成績評価の仕方」 ワーク「授業設計の基本」 模擬授業実施	講義Ⅲ「よりよい成績評価のために」	講義Ⅴ「学習評価の基本」	ミニレクチャーⅢ「様々な成績評価、その目 的と方法」
	4ー2 適切な成績評 価およびフィードバ ックを行う。	共通	事前学習教材「アクティブ・ラーニング」 事前学習教材「成績評価の仕方」 ワーク「授業設計の基本」 模擬授業実施	グループワークⅢ「全学共通科目の開発Ⅱ」 グループワークⅣ「全学共通科目の開発Ⅲ」 グループワークⅤ「全学共通科目の開発Ⅳ」 グループ発表Ⅰ「中間発表」 グループ発表Ⅱ「最終発表」	グループワークⅡ「共通教育科目の開発Ⅱ」 グループワークⅢ「共通教育科目の開発Ⅲ」 グループワークⅣ「共通教育科目の開発Ⅳ」 グループワークⅤ「共通教育科目の開発Ⅴ」 「中間発表」 「模擬授業」	グループワークⅢ「共通教育科目の開発②」 グループワークⅣ「共通教育科目の開発③」 グループワークⅤ「共通教育科目の開発④」 グループ発表Ⅰ「グループワーク中間報告」 グループ発表Ⅱ「新科目の紹介とミニ授業」
5. 教育活動の 自己改善・キャ リア開発、教育 開発	5ー1 授業改善・ キャリア開発や教育 開発に関する基礎知 識を習得する。	共通	ワーク「自身の教育理念」 模擬授業準備、実施 模擬授業の振り返り プログラムのまとめ	グループワークⅢ「全学共通科目の開発Ⅱ」 グループワークⅣ「全学共通科目の開発Ⅲ」 グループワークⅤ「全学共通科目の開発Ⅳ」 グループ発表Ⅰ「中間発表」 グループ発表Ⅱ「最終発表」	グループワークⅡ「共通教育科目の開発Ⅱ」 グループワークⅢ「共通教育科目の開発Ⅲ」 グループワークⅣ「共通教育科目の開発Ⅳ」 グループワークⅤ「共通教育科目の開発Ⅴ」 「中間発表」 「模擬授業」	グループワークⅢ「共通教育科目の開発②」 グループワークⅣ「共通教育科目の開発③」 グループワークⅤ「共通教育科目の開発④」 グループ発表Ⅰ「グループワーク中間報告」 グループ発表Ⅱ「新科目の紹介とミニ授業」
	5ー2 自己改善・ キャリア開発や教育 開発のためのスキル を修得する。	共通	ワーク「自身の教育理念」 模擬授業準備、実施 模擬授業の振り返り プログラムのまとめ	グループワークⅢ「全学共通科目の開発Ⅱ」 グループワークⅣ「全学共通科目の開発Ⅲ」 グループワークⅤ「全学共通科目の開発Ⅳ」 グループ発表Ⅰ「中間発表」 グループ発表Ⅱ「最終発表」	グループワークⅡ「共通教育科目の開発Ⅱ」 グループワークⅢ「共通教育科目の開発Ⅲ」 グループワークⅣ「共通教育科目の開発Ⅳ」 グループワークⅤ「共通教育科目の開発Ⅴ」 「中間発表」 「模擬授業」	グループワークⅢ「共通教育科目の開発②」 グループワークⅣ「共通教育科目の開発③」 グループワークⅤ「共通教育科目の開発④」 グループ発表Ⅰ「グループワーク中間報告」 グループ発表Ⅱ「新科目の紹介とミニ授業」

③ ティーチング・ポートフォリオ研修の実施・公開



「ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ」を愛媛大学で7月及び9月に開催し、加盟校内外から3校22名（国立大学1校20名、高等専門学校1校1名、加盟校外1校1名）が参加した。受講後のアンケートでは、「自らの教育を振り返る機会となった。教育理念と方法が合致していない部分があったことに気付いたので、教育方法を改善していきたい」「どのような学びを提供するのかや、何のために授業をするかだけでなく、そもそもなぜ大学で教える必要があるのかまで考える機会があり、今後の授業や教育の基本的理念を意識

するきっかけになった」等のコメントがあり好評だった。本研修は、今後のワークショップで必要となるメンターの育成も目的の一つとしており、受講者のメンタリングスキル修得のためのプログラムも兼ねている。

日 程	プログラム名	開催校	受講者数			参加校数 対面	満足度 (%)
			対面	遠隔	計		
7月7日(土)～8日(日)	ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ(全加盟校教員対象)	徳島大学	18	0	18	1	83.3
9月13日(木)～15日(土)	ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ<高専対象>	愛媛大学	4	0	4	3	100
合 計			22	0	22	4	91.65

④ 各種FDプログラムの開発・実施

過去のアンケート結果や教育現場の課題を踏まえ、アクティブ・ラーニングや学習評価、シラバス作成法、講義法等多岐にわたるプログラムを開講した。

愛媛大学が毎年対面及びeラーニングで開講している「学生の授業時間外学習を促すシラバス作成法」では、今治明德短期大学において、eラーニングを複数人が一斉受講する初の試みを行い、学内研修会として計4回実施することで、多くの教員への参加を促すことができた。



平成30年度SPOD FD、FD・SD共通、プレFDプログラム一覧

平成31年2月28日現在

日 程	プログラム名	開催校	受講者数			参加校数		満足度
			対面	遠隔	計	対面	遠隔	%
4月2日(月)	大学授業入門	高知大学	17	0	17	1	0	100
4月5日(木)	会議マネジメント	愛媛大学	14	0	14	2	0	100
5月8日(火)	ジグソー学習法入門	愛媛大学	9	0	9	1	0	100
5月10日(木)	学生の学びやすさと学習意欲を高める授業設計－課題分析図の活用－	愛媛大学	5	0	5	1	0	100
5月10日(木)	効果的なグループワークの進め方	愛媛大学	12	0	12	1	0	100
5月17日(木)	アクティブラーニング入門セミナー	愛媛大学	15	0	15	4	0	100
5月17日(木)	効果的なeラーニング活用方法(超入門編)	愛媛大学	4	0	4	2	0	75
5月18日(金)	学習評価の基本	愛媛大学	14	0	14	2	0	92.9
6月14日(木)	大学のガバナンスの理解	愛媛大学	12	0	12	3	0	91.7
6月15日(金)	教職協働の高度化	愛媛大学	11	0	11	2	0	90.9
8月9日(木)	プロジェクトマネジメント	愛媛大学	10	0	10	3	0	90
8月20日(月)	講義のための話し方入門	愛媛大学	11	0	11	4	0	100
9月4日(火)	3つのポリシー(ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー;アセスメント・ポリシー)の開発と一貫性構築法	愛媛大学	0	24	24	0	4	100
9月4日(火)	大人数講義法の基本	愛媛大学	0	21	21	0	3	100
9月6日(木)	講義に小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン－考え方と進め方－	高知大学	10	0	10	4	0	100
9月6日(木)	はじめてみよう！アクティブ・ラーニング	高知大学	11	0	11	4	0	90.9
9月7日(金)	グループワークの技法	高知大学	6	0	6	3	0	100
9月11日(火)	学習者の学習意欲を高める授業設計を行うためのインストラクショナル・デザイン(ID)入門－ARCS動機づけモデルの活用－	愛媛大学	6	0	6	2	0	83.3
9月13日(木)	eラーニング活用(入門編)－学習支援システムMoodleを活用してきめ細やかな学習支援を実現しよう－	愛媛大学	13	0	13	3	0	92.3
9月18日(火)	動画教材作成法	愛媛大学	8	0	8	4	0	100
9月25日(火)	始めよう！アクティブ・ラーニング型授業－協同学習・話し合いの技法編－	香川大学	13	0	13	7	0	100
9月25日(火)	始めよう！アクティブ・ラーニング型授業－協同学習・教え合いの技法編－	香川大学	14	0	14	7	0	100
9月26日(水)	始めよう！アクティブ・ラーニング型授業－協同学習・問題解決の技法編－	香川大学	10	0	10	6	0	90
9月26日(水)	始めよう！アクティブ・ラーニング型授業－協同学習・図解の技法編－	香川大学	8	0	8	5	0	85.7
9月27日(木)	始めよう！アクティブ・ラーニング型授業－協同学習・文章作成の技法編－	香川大学	8	0	8	5	0	100
9月27日(木)	初心者のためのクリッカー講座	香川大学	3	0	3	2	0	100
9月27日(木)	TA・SA講習	高知大学	31	0	31	1	0	－
9月27日(木)～28日(金)	ファシリテーション力養成道場	高知大学	24	0	24	1	0	95.8
12月13日(木)	学生の授業時間外学習を促すシラバス作成法	愛媛大学	13	28※	41	4	6※	100
12月26日(水)	大学教育カンファレンス in 徳島	徳島大学	147	0	147	21	0	96.9
1月23日(水)	シラバスブラッシュアップワークショップ	高知大学	6	0	6	3	0	100
2月6日(水)	新任教員のためのリフレクションセミナー	高知大学	8	0	8	2	0	100
2月6日(水)	能動的学習支援者必須！グループワークのためのファシリテーション入門	高知大学	5	0	5	4	0	100
2月18日(月)	英語で授業をしたい教員のためのワークショップ	愛媛大学	6	0	6	1	0	100
3月6日(水)	愛媛大学教育改革シンポジウム	愛媛大学	実施予定					
3月29日(金)	TA・SA講習	高知大学						
合 計			484	73	557	115	13	96

※eラーニング受講者

(3) SD事業

① SDプログラムの体系的・段階的・継続的实施

「大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅠ～Ⅲ）」は、レベルⅠ研修の過去5年間の受講者所属校を対象に昨年度実施したアンケート等を基に検討を行い、今年度から研修の構成や講義時間等を見直して実施した。この見直しにより、レベルⅠについては5月開催の新任職員研修と11月開催の研修の2回の受講で、レベルⅡ及びレベルⅢについては各1回の受講で、各レベルの全プログラムを修了することが可能となった。また、昼休憩の時間を情報交換の時間として位置づけ、レベルⅠでは、従来60分に設定していた休憩時間を90分に増やすことで受講者間の交流を促した。さらに、今年度から研修実施要項をチラシ形式に変更し、研修の内容や目的がより分かりやすく受講者に伝わるよう改善を行った。



これらを踏まえて実施した今年度の全4回の研修は、加盟校17校から合計160名（国立大学5校109名、公立大学1校7名、私立大学・短期大学7校33名、高等専門学校4校11名）の職員が参加した。このうち、5月に徳島大学で開催した新任職員研修（レベルⅠ）は、四国地区の国公立大学等の新任職員が集まる研修で、四国4県の持ち回りで毎年実施している。本研修は、職員として必要な基礎知識の習得だけでなく、設置形態を越えた職員間の相互交流・関係づくりの場を提供することも目的としており、受講者から「情報交換の時間を多く設けていただけたため他大学の方々と交流することができた」とのコメントが多数あり、ネットワーク構築という面でのプログラム見直しの効果が如実に現れていた。なお、各レベルの研修報告を分析したところ、プログラムを体系的に受講することの成果が窺える感想がある一方で、これまで別プログラムとして実施していた複数プログラムを1つに統合したことによる課題も見えてきたため、講師間で振り返りを行い、次年度に向けて更なる改善を加えていく予定である。

また、一部プログラムにおいて受講者に事前課題を課したところ、当該プログラムの受講後の到達目標達成度が他のプログラムと比べて高くなる傾向が見られた。受講者からも「受講前に予習することで研修当日の講義での理解がより深まり、関心を持って聴くことができた」等の感想が多く寄せられ、事前課題をうまく活用することで学びの効果をより高めることができることが示唆された。

SPODフォーラムでは、「SD担当者研修－戦略的な人材育成をするために－」や「職員のためのスタッフ・ポートフォリオ作成ワークショップ」などの各種SDプログラムに加え、職務別能力開発研修として国際連携系や学務系など職務別のプログラムを提供することで、幅広いニーズに応えることができた。

② 次世代リーダー養成プログラムの実施

「次世代リーダー養成ゼミナール」（2年間で8回実施）は、将来、所属大学でのトップリーダーや高等教育界のリーダーとして大学等の経営を担うために必要な知識、技能、態度を身につけた人材を養成することを目的としており、今年度で9期目を迎えた。今期は初めて技術職員も受講生に加わり、8期生4名と9期生6名の計10名（国立大学3校5名、公立大学1校1名、私立大学・短期大学3校4名）で実施した。プログラムは「講義」「プロジェクト」「SD実践・演習」の3つの柱で構成されており、受講生には主体的・自主的に学ぶ姿勢が求められる。



修了するには毎回課されるレポートやプレゼンテーション課題をこなす必要があり、各自が企画したプロジェクトの実施とそのレポート作成も含まれる。今期で8期生4名が修了し、次年度には節目となる10期生を迎えることとなる。本ゼミナール修了生は58名となり、ゼミナールでの経験を活かし、責任あるポストに配属されて様々な業務の企画・実施を行ったり、SPODや学内外の研修講師を務めるだけでなく積極的に「SPODスタッフ・ディベロップメント・コーディネーター（S

POD-SDC)」の資格を取得したりするなど、目覚ましい活躍をしている。

なお、本ゼミナールの一部講義については、高等教育の第一人者を講師に招いて開講しており、ゼミナール受講生以外も受講できるよう、SPOD加盟校の教職員にも開放している。今年度は延べ84名が開放講義に参加した。

■次世代リーダー養成ゼミナール日程

日 程		開催校	受講者数			参加校数	満足度 (%)
			対面	遠隔	計	対面	
第1回	5月30日(水)～6月1日(金)	愛媛大学	11	0	11	7	-
第2回	7月19日(木)～20日(金)	高知大学	10	0	10	7	-
第3回	10月31日(水)～11月2日(金)	愛媛大学	10	0	10	7	-
第4回	1月24日(木)～25日(金)	徳島大学	10	0	10	7	100
合 計			41	0	41	28	100

■プロジェクトの紹介(8期生)

プロジェクト名	プロジェクトリーダー(8期生)
大学における専門用語の情報共有による業務の質向上に向けた取り組み —大学版 Wikipedia の構築を通して—	徳島大学地方大学・地域産業創生事業室 竹重 和也
障がい支援の理解及び実践力の向上に関する取り組み —ワークショップと書籍紹介を通して—	愛媛大学総務部就業環境推進室 高木 佳代子
大学職員の資質能力の向上に向けて —資質能力向上のための研修制度構築—	四国大学総務・企画部総務課 藤本 賢一
AO入試の見直しと高大接続プログラムの作成・実施	徳島文理大学教務部教務課 藤本 正己

■SPOD加盟校の職員に開放した講義

日 程	プログラム名	開催校	受講者数	参加校数
5月31日(木)	次世代リーダー養成ゼミナール(第1回)開放講義「高等教育史」	愛媛大学	5	1
6月1日(金)	次世代リーダー養成ゼミナール(第1回)開放講義「大学職員論」	愛媛大学	13	5
7月19日(木)	次世代リーダー養成ゼミナール(第2回)模擬講義「SD実践Ⅱ」	高知大学	6	4
11月1日(木)	次世代リーダー養成ゼミナール(第3回)開放講義「経営管理・戦略論」	愛媛大学	8	5
11月1日(木)	次世代リーダー養成ゼミナール(第3回)開放講義「高等教育におけるIR」	愛媛大学	13	7
11月1日(木)	次世代リーダー養成ゼミナール(第3回)開放講義「高等教育政策論」	愛媛大学	7	4
11月2日(金)	次世代リーダー養成ゼミナール(第3回)開放講義「SD実践Ⅱ」(8期生による講義)	愛媛大学	28	6
11月2日(金)	次世代リーダー養成ゼミナール(第3回)開放講義「危機管理実践」	愛媛大学	4	2
合 計			84	34

※受講者数はゼミナール生を除く人数



③ 講師養成によるSDの継続的な実施

9月に愛媛大学で「職員のための講師養成講座」を開催した。本講座は、研修講師として必要な心構え、知識、技法を習得させることにより、将来のSPOD-SD講師として育成することを目的として、学内での研修で講師を務める可能性のある職員や将来SPOD-SD講師になる意欲のある職員を対象に実施している。

今年度は昨年度に引き続き、教員対象の「授業デザインワークショップ」と一部合同で3日間の日程で開催し、加盟校3校から4名（国立大学2校3名、高等専門学校1校1名）の参加があった。本講座は、説得力ある説明のポイントや話し方のレッスン等の要素も含まれており、日常の業務を遂行する上でも活かすことのできる内容となっている。受講者は、自身が設計したSD研修の模擬講義を最終日に行い、講師や他の受講者からのアドバイスを受けて、各自が今後の課題を見出すことができた。研修後の受講者からの報告書では、「研修講師を務める際に必要な心構えや知識、技能について講義及びワークを通して学ぶことができた」「講義や研修を行う上でのプログラムの組み立て方やプレゼンを行う講師側のマナーを習得できた」等のコメントがあった。なお、本講座は、次年度はSPODフォーラムのプログラムとして実施する予定である。



今年度開講した「大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅠ，Ⅱ）」、「SPODフォーラム2018」等の講師のうち20名が本講座修了者及び次世代リーダー養成ゼミナール修了生であり、いずれも受講者から高い評価を得た。先輩職員がSD研修の講師を担うことのメリットとしては、職員としての自身の経験を取り入れた研修をすることで、受講者が職場での適用イメージを想像しやすい点、そして受講者が講師をロールモデルとして捉え、自分の将来像を描きやすい点などが挙げられる。職員自らが講師となって次世代の職員を育成していくというサイクル確立に向け、引き続き講師養成に努めていく。

④ SPOD-SDCの輩出

職員の能力開発に関する知識・技術を修得していると認定された教職員に付与されるSPOD-SDCについては、67ページに掲載している申合せに基づき、今年度新たに徳島大学から1名、聖カタリナ大学から1名、愛媛大学から4名の計6名を認定した。現在のSPOD-SDC資格認定者は、68ページに掲載のとおり合計25名となった。

SPODでは、各大学等のSDの自律（立）的運営を目指しており、各加盟校が「SDの義務化」に対応し、自校のSD事業を推進できるよう、SPOD-SDC資格取得者の輩出を積極的に支援している。今年度は、次世代リーダー養成ゼミナール修了生やSPOD-SDC資格取得候補者を対象に、資格取得に向けたフォローアップセミナーを愛媛大学で実施した。こうした取組が実を結び、徳島大学及び聖カタリナ大学から今回初めて資格認定者を輩出するなど、近年、資格認定者の所属機関が増えてきている。今後も、資格認定者輩出に向けた取組を継続的に実施していく。



日 程	プログラム名	開催校	受講者数			参加校数 対面	満足度 (%)
			対面	遠隔	計		
5月9日(水)～11日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅠ)第1回 【新任職員研修】	徳島大学	63	0	63	11	98.4
6月14日(木)	カリキュラム・マネジメント	愛媛大学	7	0	7	1	100
6月15日(金)	OJTの実践	愛媛大学	4	0	4	1	100
6月28日(木)～29日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅡ)	愛媛大学	40	0	40	12	100
9月5日(水)～7日(金)	職員のための講師養成講座	愛媛大学	4	0	4	3	100
9月19日(水)～21日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅢ)	愛媛大学	20	0	20	7	100
11月8日(木)～9日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅠ)第2回	愛媛大学	37	0	37	12	100
12月7日(金)～8日(土)	スタッフ・ポートフォリオ作成ワークショップ	愛媛大学	6	0	6	5	-
合 計			181	0	181	52	99.8

四国地区大学教職員能力開発ネットワークにおけるスタッフ・ディベロップメント・コーディネーターの資格認定に関する申合せ

平成26年11月19日

ネットワークコア運営協議会

(趣旨)

第1条 この申合せは、四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（以下「SPOD」という。）において、職員の能力開発（以下「SD」という。）に関する知識・技術を修得し、自大学及びSPOD加盟校におけるSDの実践的指導者として適切な能力を有すると認められる者の資格認定に関し、必要な事項を定めるものとする。

(資格の名称)

第2条 資格の名称は、「SPOD—スタッフ・ディベロップメント・コーディネーター（Staff Development Coordinator）」（以下「SPOD—SDC」という。）とする。

(資格の認定)

第3条 SPOD—SDCの資格の認定は、別紙に定める認定基準を満たし、かつ、SPOD加盟校人事課長又はSD担当課長相当が別紙様式1により推薦する自大学の教職員に対して、SPODが別紙様式2の資格認定証書を授与することによって行う。

2 前項の資格認定証書は、SD専門部会において研修プログラム受講歴及び研修講師歴等を踏まえ審査し、SPODネットワークコア運営協議会が承認した者に授与する。

(資格の有効期間)

第4条 SPOD—SDC資格の有効期間は、認定日から、SPOD事業の運営終了日までとする。

(資格認定・授与原簿)

第5条 SPOD—SDC資格を認定して資格認定証書を授与したとき、及び第7条に規定する資格の取消しを行ったときは、別紙様式3のSPOD—SDC認定・授与原簿に所定の事項を記入するものとする。

(資格認定証書の再交付)

第6条 資格認定証書を破損又は紛失したときは、再交付を受けることができるものとする。

(資格の取消し)

第7条 SPOD—SDC資格を認定された者が、刑事罰又は行政罰等を受けたときは、当該資格を取り消すことができるものとする。

(事務)

第8条 SPOD—SDC資格認定に関する事務は、SPOD事務局において処理する。

(雑則)

第9条 この申合せに定めるもののほか、SPOD—SDCの認定に関し必要な事項は、SPODネットワークコア運営協議会が別に定める。

附 則

1 この申合せは、平成26年11月19日から施行する。

2 この申合せの施行の際、現に認定されている者については、第3条に規定する資格認定証書を授与する。

【別 紙】

SPOD—スタッフ・ディベロップメント・コーディネーターの資格認定基準

SPOD—スタッフ・ディベロップメント・コーディネーターの資格認定基準は、次のとおりとする。

1. SPOD—SD（又は自大学におけるSD）講師を務めることができる。
2. 職員のキャリアプランニングをサポートすることができる。
3. 大学等における職員人材育成ビジョンの構築方法について説明することができる。
4. 大学等におけるSDプログラムの企画・立案ができる。
5. スタッフ・ポートフォリオの有益性を説明することができる。

■ SPOD－SDC資格認定者

年度		取得日	氏名	所属／職名（認定時）
H23年度	1	H23. 7. 14	秦 敬治	愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室／教授
	2	H23. 7. 14	大竹 奈津子	愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室／助教
	3	H23. 7. 14	米澤 慎二	愛媛大学教育学生支援部／部長
	4	H23. 7. 31	阿部 光伸	愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室／特任助教
H24年度	5	H24. 12. 7	岸岡 洋介	愛媛大学教育学生支援部教育企画課／部課員
H25年度	6	H25. 12. 18	吉田 一恵	愛媛大学総務部人事課／課長
	7	H25. 12. 18	久保 秀二	愛媛大学総務部人事課／チームリーダー
	8	H25. 12. 18	上甲 功治	愛媛大学総務部人事課／チームリーダー
H26年度	9	H26. 11. 19	仲道 雅輝	愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室／講師
	10	H26. 11. 19	清水 栄子	愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室／助教
	11	H26. 11. 19	丸山 智子	愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室／特任助教
	12	H26. 11. 19	秋谷 恵子	愛媛大学総務部人事課／課長
H27年度	13	H27. 8. 4	野口 里美	香川大学教育学部総務係／係長
H28年度	14	H28. 12. 13	中井 俊樹	愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室／教授
	15	H28. 12. 13	織田 隆司	愛媛大学教育学生支援部教育企画課／副課長
	16	H28. 12. 13	藤巻 晃	徳島文理大学総務部庶務・渉外グループ／事務主任
	17	H29. 2. 17	石原 卓也	香川大学経営管理室経営企画グループ／チーフ
H29年度	18	H29. 12. 14	河野 太志	愛媛大学教育学生支援部教育企画課／副課長
	19	H29. 12. 14	大本 盛嗣	愛媛大学総務部学長秘書室／チームリーダー
H30年度	20	H31. 1. 16	角村 法久	徳島大学研究支援・産官学連携センター／特任助教
	21	H31. 1. 16	玉岡 兼治	聖カタリナ大学図書課／課長
	22	H31. 1. 16	上畠 洋佑	愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室／特任助教
	23	H31. 1. 16	竹中 喜一	愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室／特任助教
	24	H31. 1. 16	岡 靖子	愛媛大学教育学生支援部就職支援課／課長
	25	H31. 1. 16	大塚 陽介	愛媛大学農学部事務課総務チーム／チームリーダー